

【編集後記】「住宅火災を防ぐために」

昨年11月に、往年の名投手だった村田兆治さんが自宅の火災で亡くなったことは野球ファンならずともショッキングなニュースであった。報道によれば、死因は一酸化炭素中毒で一人住まいであったという。先日公表された消防白書によると令和3年の全国の火災による死亡者（放火自殺者等を除く）1,143名のうち住宅火災による死者は966名のうち高齢者が74%を占めるといふ。死者を出した火災の原因は、タバコ、ストーブ、電気器具の順となっている。全国の女性防火クラブ員の皆さんの献身的な普及活動により住宅用火災警報器の設置率は84%に達し、住宅火災の件数は着実に減少してきたが、耐用年数を経過した機器の交換や連動型、CO警報付加型など先進的機能を持つ機器の導入なども課題となっている。最近も火災のニュースをよく耳にする。総務省消防庁では「住宅防火いのちを守る10のポイント」という平易な広報動画をホームページ上で公表しているのだから、御覧いただき火災予防の一助とすることをお薦めする。

地域防災に関する総合情報誌 **地域防災** 2023年2月号（通巻48号）

■発行日 令和5年2月15日

■発行所 一般財団法人日本防火・防災協会

■編集発行人 高尾 和彦

〒105-0021 東京都港区東新橋1-1-19（ヤクルトビル内）

TEL 03 (6280) 6904 FAX 03 (6205) 7851

URL <https://www.n-bouka.or.jp>

■編集協力 近代消防社